

単元の目標

平和な社会の実現に向けたメッセージについて、戦時中の動物園の様子と当時の社会状況の狭間で葛藤する飼育員の心情を推し量る学習活動を通して、飼育員の立場から未来の子どもたちに向けて書くことができるようにする。

学習活動

1時

- ① 東京大空襲を経験した海老名香葉子さんのメッセージを聞き、単元の目標を共有する。
- ② 教科書本文から必要な情報を読み取り、動物が処分されることについて感想を伝え合う。

2時

- ① 教科書本文から必要な情報を読み取り、ジョンの様子を見た飼育員がどのように思ったのかをペアで伝え合う。
- ② 話した内容を踏まえて、ジョンについての叙述に基づき、感想を書く。

3時

- ① 教科書本文から必要な情報を読み取り、トンキーとワンリーを見て、飼育係がなぜ涙を流したかをペアで伝え合う。
- ② 話した内容を踏まえて、トンキーとワンリーの叙述に基づき、感想を書く。

4時

- ① 教科書本文から必要な情報を読み取り、動けなくなったトンキーとワンリーの目がなぜ美しかったのかをペアで伝え合う。
- ② 危険な動物を処分する以外に、どのような方法があったかをグループで伝え合う。
- ③ 話した内容を踏まえて、動物の救済方法について自分の考えを書く。

5時

- ① これまでに学習した内容の概要を、時系列で整理して書く。
- ② 概要をもとに、飼育員の立場から、未来の子どもたちに向けたメッセージを書く。

6時

- ① メッセージに込めた願いをイラストに表す。
- ② イラストとともに、平和な社会の実現に向けたメッセージをクラスで交流する。
- ③ 自己目標の達成状況を振り返り、次の課題を明確にする。

後日

ペーパーテストを実施する。

単元の評価規準「書くこと」

- ・ 1学期に学習した言語材料の特徴やきまりを理解している。
- ・ 読んだことをもとに、事実や自分の考えについて、簡単な語句や文を用いて書く技能を身に付けている。

平和な社会を実現するためのメッセージを作るために、「Faithful Elephants」の概要を捉え、事実や自分の考えを整理し、飼育員の立場から未来の子どもたちに向けて、まとまりのある文章で書いている。

平和な社会を実現するためのメッセージを作るために、「Faithful Elephants」の概要を捉え、事実や自分の考えを整理し、飼育員の立場から未来の子どもたちに向けて、まとまりのある文章で書こうとしている。

評価規準【評価方法】

知識・技能

思考・判断・表現

主体的に学習に取り組む態度

※ 評価規準の記載のない時間については、記録に残す評価は行わない。ただし、ねらいに即して生徒の活動の状況を見届けて指導に生かすことは毎時間必ず行う。

(4時)

- ・ 1学期に学習した言語材料の特徴やきまりを理解している。
 - ・ 読んだことをもとに、事実や自分の考えについて、簡単な語句や文を用いて書く技能を身に付けている。
- 【記述分析】

※単元の評価規準に照らした評価【記述分析】

(5時)

平和な社会を実現するためのメッセージを作るために、「Faithful Elephants」の概要を捉え、事実や自分の考えを整理し、飼育員の立場から未来の子どもたちに向けて、まとまりのある文章で書いている。

【記述分析】

※単元の評価規準に照らした評価【記述分析】

(5時)

平和な社会を実現するためのメッセージを作るために、「Faithful Elephants」の概要を捉え、事実や自分の考えを整理し、飼育員の立場から未来の子どもたちに向けて、まとまりのある文章で書こうとしている。

【記述分析】

※単元の評価規準に照らした評価【記述分析】